The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	意匠学会会報No.81/事務局移転 /一般会務報告
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2017, 70, p. 110-113
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65059
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

意匠学会
会報
2017.7.31
No. 81
http://www.japansocietyofdesign.com/

事務局移転

意匠学会本部事務局・編集事務局・委託事務局が下記に移転しました。

意匠学会本部事務局
京都市立芸術大学　美術研究科　プロダクトデザイン研究室
〒610-1197　京都市西京区大枝沓掛町13-6
電話：075-334-2319
FAX：075-334-2321
e-mail：japansocietyofdesign@gmail.com
業務内容：例会・大会発表申込，入会申込

意匠学会編集事務局
京都工芸繊維大学　デザイン・建築学系
三木順子研究室内
〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上
TEL：075-724-7633（直通）
FAX：075-724-5710（共同）
e-mail：design.riron@gmail.com
業務内容：『デザイン理論』投稿申込

業務委託先
株式会社毎日学術フォーラム
〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル９階
TEL：03-6267-4550
FAX：03-6267-4555
担当：座間
e-mail：maf-jsd@mynavi.jp
業務内容：会費納金，所属・連絡先変更，退会申込

一般会務報告

平成28年度　第４回役員会　議事録

日　時：平成28年11月19日（土）
12時00分～14時00分
会　場：兵庫県立大学　姫路環境人間キャンパス
出席者：天貝義教，伊集院敬行，伊東徹夫，伊原久裕，今井美樹，面矢慎介，佐藤敬二，島先京一，杉本清，関哲洋，谷本尚子，塚田章，藤田治彦

〔審議事項〕
議題１．2017年度２月例会について
以下のように決定した。
会　場：フェリス女学院大学　山手キャンパス
日　時：2017年２月25日（土）
発表者：
・青木智子（東京藝術大学）
「エミール・ガレの語る「芸術の統合」と「現代家具」── 多様な家具の方向性とウィリアム・モリスの思想 ──」
（本会議で承認後，本人の申し出による発表辞退の連絡があり，メール役員審議でこれを承認し，発表者および発表タイトルを竹内幸絵／同志社大学『ウキンドー画報』『ウキンドータイムス』に見る大正期の近代広告デザインに変更した。）
・吉羽一之（千葉商科大学）
「昭和初期の書物本文組版についての考察 ── 夏目漱石『吾輩は猫である』再刊本を中心に ──」

議題２．2017年度５月例会について
以下のように決定した。
会　場：成安造形大学
日　時：2017年５月13日（土）
発表候補者：
・井戸美里（京都工芸繊維大学）
「再編される〈花鳥〉〈山水〉の図像学 ──「十長生図」「海鶴蟠桃図」を中心に ──」
（一名は未定，引き続き検討することとなった。）

議題３．2017年度大会について
プログラム・予算について審議された。実行委員会は，パネル発表の方法や懇親会の内容等を引き続き検討することとなった。

議題４．2017年度９・11・２月例会について
大阪工業大学・京都女子大学を９月例会の会場候補とし，併せてデザイン関連学会が開催するシンポジウムの同日開催の可能性も検討することで承認された。

議題５．2017年度以降の委託事務局について
本部事務局より，2016年度末で大学生協学会支援センターの業務終了の報告があり，次期委託業者として毎日学術フォーラムの提案と，見積と移管への手続きが紹介され，承認された。

議題６．大会，例会，国際会議，シンポジウム等に関する今後の方針について
藤田治彦会長より，「大会は少なくとも４年に一度，近畿地区以外で開催する」，「研究例会は少なくとも２年に一度，近畿地区以外で開催する」，「隔年開催の ACDHT（アジア・デザイン史論国際会議）は，４年に一度，意匠学会（国際交流委員会）が中心になって関西で開催される」，「日本国内のデザイン関連学会が協力して開催するシンポジウム等の交流活動については，役員会で審議し，実際の活動への参加は，意匠学会からの出費も含め，その意義や有効性等を見極めて判断する」旨の方針が示されて，承認され，これらを『会報』に掲載することによって学会の活性化を進めることになった。

議題７．分科会について
藤田治彦会長より，ウィリアム・モリス研究会をデザイン史分科会として開催することが提案され，承認された。

議題８．前回議事録の承認
承認された。

議題９．入退会希望者の承認
入会：岡田（泊里）涼子，小坂宗義，李海寧，李路陽
退会：なし

〔報告事項〕
１．各種委員会報告
・学会賞選考委員会：塚田章委員長より，2016年度学会賞候補者推薦の呼びかけがあった。
・国際交流委員会：藤田治彦会長より，2017年度開催アジア・デザイン史論国際会議（埼玉大学）の発表者募集の呼びかけがあった。
２．その他
佐藤敬二副会長より，第58回大会の収支報告があった。

平成28年度　第５回役員会　議事録
日　時：平成29年２月25日（土）
13時00分～14時00分
場　所：フェリス女学院大学　山手キャンパス
出席者：青木美保子，今井美樹，佐藤敬二，島先京一，竹内幸絵，多田羅景太，谷本尚子，藤田治彦

〔審議事項〕
議題１．2017年度５月例会について
以下のように決定した。
会　場：成安造形大学
日　時：2017年５月13日（土）

発表者：
・岡田（泊里）涼子（武庫川女子大学）
「銘木に関するアンケート調査及びフィールドワークから見る“銘木”の現状と意義」
・井戸美里（京都工芸繊維大学）
「再編される〈花鳥〉〈山水〉の図像学――「十長生図」「海鶴蟠桃図」を中心に――」

議題２．2017年度大会について
以下のように決定した。
会　場：秋田市にぎわい交流館
日　時：2017年８月９日（水）・10日（木）
今井美樹大会実行委員より，日程，シンポジウムの内容，発表者募集案内等が提案され，承認された。

議題３．2017年度９・11・２月例会について
９月例会については議題５．を参照。
11・２月例会については，引き続き会場を検討することとなった。

議題４．芸術学関連学会連合シンポジウムについて
６月10日に開催されるシンポジウムの意匠学会からのパネリストとして，藤田治彦会長と川島洋一会員を推薦することが承認された。

議題５．デザイン関連学会連携シンポジウムについて
会　場：京都工芸繊維大学　60周年記念館
日　時：９月30日（土）
藤田治彦会長より，2017年度第２回デザイン関連学会連携シンポジウム案が提案された。
テーマは，「バウハウスとデザイン思想」（仮題），午前中に９月例会１名の発表の後，午後よりシンポジウム開催の予定。内容・予算等については，引き続き検討することで承認された。

議題６．英語論文の『デザイン理論』投稿について
引き続き検討されることとなった。

議題７．前回議事録の承認
承認された。

議題８．入退会希望者の承認
入会：佐々木一泰，佐々木千尋，吉原卓男
退会：平田光彦

〔報告事項〕
なし

平成29年度　第１回役員会　議事録
日　時：平成29年４月８日（土）
14時00分～16時00分
場　所：京都市立芸術大学
出席者：青木美保子，伊集院敬行，伊原久裕，今井美樹，大森正夫，面矢慎介，川島洋一，佐藤敬二，島先京一，高安啓介，滝口洋子，竹内幸絵，多田羅景太，塚田章，並木誠士，藤田治彦，前崎信也，三木順子，山口良臣，吉田雅子，吉羽一之，吉村典子，谷本尚子

〔審議事項〕
議題１．新役員・新委員会について
副会長を，「芸関連・国際交流担当」，「研究例会・大会担当」，「デザイン理論担当」の担当毎に三人にする提案が藤田会員よりなされた。討議の上，ホームページ等での表記はせず，内務担当と外務担当とし，副会長は二人のままとすることが決定された。
本部事務局幹事に，京都芸大の尾河奈美会員が推薦され，承認された。
編集委員会では，春号，秋号それぞれについて１名ずつ幹事を設定することが提議され，承認された。一人は加茂瑞穂会員，もう一人は後日連絡される。幹事については，半期５万円の予算案が決定した。

議題２．委嘱事務局（毎日学術フォーラム）契約書について

契約内容の確認を精査することが求められ，次回の役員会での再討議が決定された。

議題３．2017年度９月例会（デザイン関連学会連携シンポジウム）について

下記のように決定した。

会　場：京都工芸繊維大学
日　時：９月30日（土）
例会発表候補者：
李海寧（神戸大学大学院）
「戦後日本における屋根壁連続建築の発展についての研究」
プログラム
発　表：10：30〜11：20
懇談会：11：30〜12：00
昼食・役員会：12：00〜13：00
シンポジウム：13：00〜17：00
予　算：基調講演者の謝礼２万円，基調講演者とパネリストとコメンテーター，芸術工学会会長の計６名分の昼食代と懇親会費の両方５万円を意匠学会からの予算として計上することが認められた。

議題４．2017年度11・２月例会について

11例会の会場として九州大学又は大阪工業大学が候補に挙がった。２月例会の会場としては，京都女子大学が候補に挙がった。

議題５．名簿印刷について

５月の役員会の時に叩き台を提示し，印刷する予定が報告され，承認された。また，十人委員を明らかにする必要があるのではという提案があり，ホームページに掲載することとなった。

議題６．学会賞・論文賞について

学会賞委員会から学会賞及び論文賞についての選考結果が以下の様に報告され，承認された。

１．学会賞：籔亨会員の著書『デザイン史その歴史，理論，批評』
２．論文賞：平芳裕子会員の論文「パターンによる流行受容 ── 初期『ハーパース・バザー』の重要性」

議題７．英語論文の『デザイン理論』投稿について

編集委員会で詰めてから再度検討することとなった。

議題８．前回議事録の承認

承認された。

議題９．入退会希望者の承認

入会：平田陽子，藤岡明彦，尾河奈美
退会：鴨谷真知子

〔報告事項〕

１．各種委員会報告

国際交流委員会からアジア・デザイン史論国際会議の会場が津田塾大学となったことが報告された。

２．その他

藝関連シンポジウムについて，デザイン・クリエイティブセンター神戸にて開催決定となり，報告者として川島洋一（意匠学会），高安啓介（美学会），玉蟲敏子（美術史学会），コメンテーターとして藤田治彦（意匠学会・美学会・美術史学会）の参加決定が報告された。

会報担当連絡先
〒605-8501　京都市東山区今熊野北日吉町35
京都女子大学家政学部生活造形学科 B415
青木美保子 宛
Tel：075-531-7169（研究室直通）
E-mail：aokimih@kyoto-wu.ac.jp